

分類	会議録	《 議 事 録 》	作成
作成日	2025年8月28日	令和7年度 第4回主任相談支援部会	矢部
日 時	2025年10月23日	10:00～12:00	
場 所	大和高田市役所	5階会議室/会議室8	
出席者	大竹（もちつもたれつ）、高橋（葛城社協）、秋本（ふわら）、撫養（ひまわり学園）、井口（大和高田市）、鎌田（なっつ）、林（愛の集い学園）、矢部（青垣園）（順不同）		
次 第		内 容	
R7年10月3日(金)萩原先生の研修会振り返り		※研修の内容やボリューム、満足度について参加者の方から高評価であった。 ※3市1町の様式でのグループワークを行ったが、様々な意見が出た中で様式の見直しをどうしていくか今後検討が必要。 ※来年度の研修会について対象者を今年度と同様（3市1町特定相談及び委託相談事業所）とし、テーマはアンケートで記入して頂いた内容（下記参照）を参考にする。 <ul style="list-style-type: none">・モニタリング作成のポイント・サービス等利用計画作成のポイント・65歳の介護移行 ・医療観察法・重度利用者の意思決定支援・面談の進め方、ロールプレイ・就労選択における相談支援の役割	
R7年10月8日(水)、10日(金)相談支援専門員初任者研修実習受け入れ振り返り		※次年度は県への届出の際に、書類の必要部数を他の受講生の分も含めて伝える。 ※当日の流れ、実習の目的などWBに掲示し説明を行う。 ※1日目の対面配置は面接的、圧迫的に感じた受講生より感想を頂いたので、2日目は6角形に配置変更を行う。 ※GSVに向かうための実習＝準備であることを改めて伝える必要がある。 ※初任者研修実習受け入れに関するアンケートを県にあげるシステムも必要ではないか。 ※GSVの中で受講生同士が話をできる時間を設けるなど受け入れ内容の工夫も必要。 ※初任者研修を受講するにあたって経験年数や資格だけでなく、市町村からの推薦を必要とするなど受講要件の見直しも必要。 ⇒今回の実習に対する主任、実習生の意見を踏まえ、行政より県へ次年度の実施方法の参考にして頂けるように意見を提出した。	
地域社会資源の評価について		※県の監査室がR7年8月から業務委託となり、積極的に運営指導として事業所に入っている。 ⇒相談員は事業所の実態をしっかりと把握した上で、対象者(利用者)に情報提供を行う。又、不適切な運営をしているなど知った情報については行政に情報提供を行う。行政も再度対象者(利用者)に確認を行う。 ⇒各部会や市町村連絡会を通じて事業所に関する情報提供を行い評価に繋げていく。 又、取りまとめを主任相談支援部会で行い、評価項目については今後検討する。	
		・次回：2025年12月25日（木）10：00～大和高田市役所	